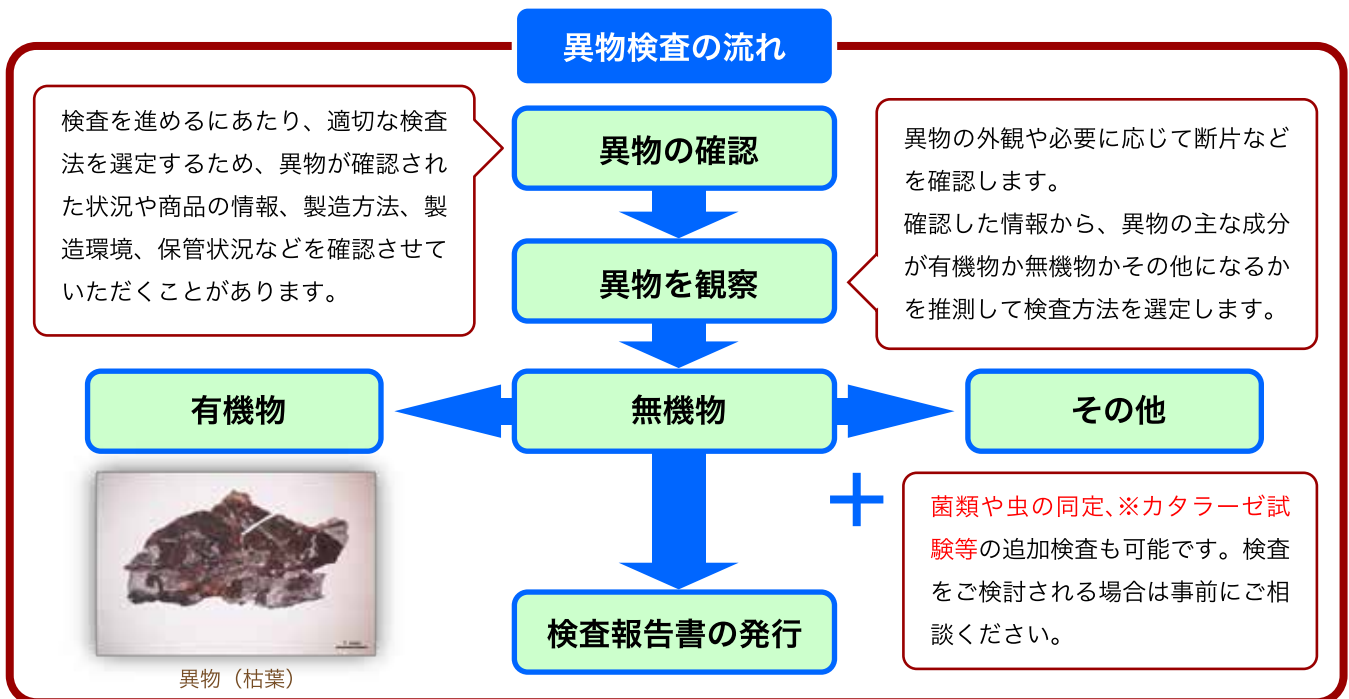


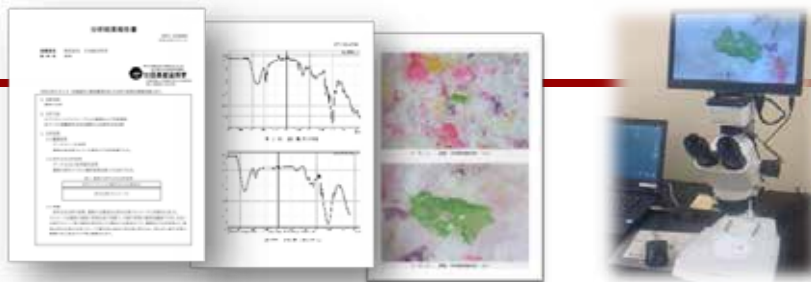
## 異物検査のご案内

食品や飲料水に対する異物混入クレームはいまだに増加する傾向にあります。消費者の食の安全性に対する意識の高まりも一つの理由です。異物混入の再発を防止するために、異物が何であるかを知ることが非常に重要なことです。科学的な検査により、異物の正体を明らかにすることで混入経路を推測し、適切な対応をすることができます。根拠のある報告と適切な対応は消費者への信頼につながります。



※【カタラーゼ試験】カタラーゼは様々な生物の細胞に存在する酵素で、異物が加熱されているか否かを確認することでどの段階で混入したのかを推定するために行う試験です。(生物以外は対象外です)

検査報告書見本



主な異物と検査方法

	主な異物	一次検査	二次的な検査(ご相談の上実施)
①	金属	蛍光X線分析(EDX)	
②	ガラス・骨や貝殻片	蛍光X線分析(EDX)	
③	植物由来の破片	赤外分光分析(FT-IR)	
④	樹脂(プラスチック類)	赤外分光分析(FT-IR)	
⑤	毛(人毛・獣毛)	赤外分光分析(FT-IR)	
⑥	真菌類(カビ・酵母)	赤外分光分析(FT-IR)	培養同定(種や属の同定)
⑦	虫・生物片	赤外分光分析(FT-IR)	虫の同定(形態が確認できる場合のみ)

## エネルギー分散型蛍光 X 線分析 (EDX)

EDXは試料にX線を照射し発生する蛍光X線のエネルギーを分析することで、試料を構成する元素の種類や含有量を調べる装置です。非破壊で固体・粉体などの元素分析ができます。



形態観察の結果、異物が無機物であることが予想される場合は、EDXで分析を行います。

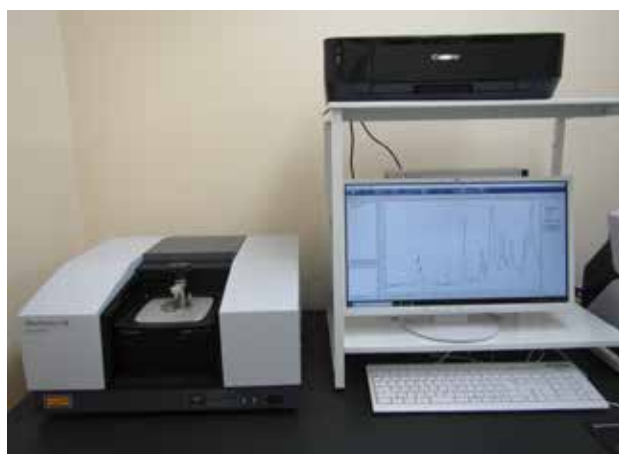
金属片・鉱物・鉄錆・ガラス等の無機物の検査に使用します。



(沈殿異物)  
沈殿異物の主要成分は炭酸カルシウム等のカルシウム化合物と判断されました

## フーリエ変換赤外分光分析 (FT-IR)

フーリエ変換赤外分光法 (FT-IR、Fourier Transform Infrared Spectroscopy) は化合物分子の赤外線吸収スペクトルを利用して化合物を定性・定量する測定法です。



形態観察の結果、異物が有機物であることが予想される場合は、FT-IRで分析を行います。

プラスチック、樹脂、合成繊維など、様々な有機物の検査に使用します。



(スジ状異物)  
異物は動物組織や食品類の一部(皮、スジ等)と推測されました

検査のご依頼は



〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町15番7号  
TEL(082)263-3914 FAX(082)263-8366